

教育学部 主要科目の特長、科目群ごとの目標等

共通科目

主要科目の特長

「教養ゼミナール」

学科別に少人数（10名程度）クラスで専任教員の指導のもと、基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力など、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。

「コンピュータ・リテラシー」

実際にコンピュータを操作しながら、4年間の大学生活に必要なコンピュータ・リテラシーを養成する。電子メールの利用、インターネットを利用しての情報検索、文書作成能力、表計算活用能力および関連する基礎知識、マナーを身につける。

科目群ごとの目標等

〔教養・総合分野〕

「教養ゼミナール」「キリスト教分野」「人文分野」「社会分野」「自然分野」「生活芸術分野」「キャリアデザイン分野」で編成される。「教養ゼミナール」では少人数クラス（10人程度）で専任教員の指導のもと、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。「キリスト教分野」では、キリスト教の歴史や文化を学ぶとともに、本学院の基盤である「建学の精神」について理解を深める。「人文分野」「社会分野」「自然分野」では幅広くかつ深い教養や総合的な判断力を培い、「生活芸術分野」では日本の伝統文化や芸術を体験する。「キャリアデザイン分野」では在学中から卒業後を見据えたキャリア設計をおこなう就職活動にも必要となる社会人としてのスキルを身につける。

〔コンピュータ・リテラシー分野〕

今日の情報社会では欠かせない基礎的な情報処理技術やネットワーク社会でのルールとマナーを修得する。

〔外国語分野〕

実践英語を中心とした科目を開設するとともに、学生の興味にあわせドイツ語、フランス語、中国語、ハングルを選択履修できるよう配慮している。英語は、コミュニケーション（会話）を中心に、聞く能力、話す能力など、分野別に6段階のレベル構成となっており、無理なくステップアップしながら実力を身につけることができる。

〔保健体育分野〕

健康は自らの努力により積極的に創り出すものと考え、生涯にわたって健やかな身体を保持し、健康で豊かに生きるためにどうすればよいのかを考え、実践する。

教育学部こども発達学科専門科目

主要科目の特長

学科基幹科目には、乳幼児期から学童期のこどもの発達や子育ての営み、本学の建学の精神にも通じるキリスト教の観点からの教育・保育の重要性を理解するための科目が設置されている。学科基幹科目は、教育学部での学習の基礎になるとともに、子どもの本質や現代的課題について関心を高めること、あるいは、それらの関心を教育者・保育者として発展させていくことを目的としているため、卒業必修科目としている。

「こども発達論Ⅰ・Ⅱ」

こどもの発達のメカニズムを健康・福祉関連分野、教育関連分野、心理関連分野から総合的に捉え、こどもが生涯を通じて健全に発達するための環境のあり方や生き生きとした人生を送るための支援に関して具体的に学ぶ。本科目は各専門分野の教員によるオムニバス形式で行われる。

「キリスト教と教育」

教育および保育の基礎となる人間観・こども観をキリスト教を通して学ぶ。キリスト教は古来より、教育、特にこどもの教育・保育に大きな関心を寄せ、大きな影響を与えてきた。こどもたちの教育・保育をめぐる状況が大きく変わりつつある現在、キリスト教が果たしてきた役割を振り返りつつ、キリスト教に基づいた教育・保育の現代的意義についても考察する。

科目群ごとの目標等

〔教育保育分野〕

教員ないし保育士として現場で活躍する際に必要な知識と技術とを獲得・向上させるための科目が配置されている。例えば、教育や保育の本質やその原理について理解を深めることを目標とした「教育原理」「保育原理」などの科目、教育・保育各領域内容についての基礎から発展までの知識と技術の獲得を目標とした「国語」「算数」「音楽Ⅰ」「体育」などの科目、各領域内容のよりよい教育法・指導法についての理解を深めるとともに実際の力の向上を目標とした「初等教科教育法」「保育内容指導法」などの科目がある。

〔心理分野〕

人間の実像や人間を取り巻く諸問題に関して、心の側面から理解し考える能力を高めるための科目が配置されている。例えば、人間の心理についての基礎的な知識と観点とを養うことを目標とした「心理学の基礎Ⅰ・Ⅱ」などの科目、育ちゆく人間について教育や保育の観点から心理的側面から理解し効果的に関わる力を涵養することを目標とした「教育心理学」「発達心理学」などの科目群、人間が直面する心理的問題や心の病の捉え方や、支援・治療する具体的な方法について理解を深めることを目標とした「臨床心理学」「精神保健」などの科目がある。

〔健康・福祉分野〕

一人ひとりの人間が健康で幸せな生活を実現するための理論と実践を学ぶ科目が配置さ

れている。例えば、福祉の理念や基本的な原理について理解を深めることを目標とした「社会福祉」「社会的養護」などの科目、成長過程にある子どもの福祉的な課題に関する問題意識を高め、支援の在り方について理解することを目標とした「児童家庭福祉」「子どもの保健」などの科目群、福祉実践について理解し、具体的な技術を獲得することを目的とした「保育相談支援」などの科目がある。

【総合分野】

教育者・保育者として幅広い観点から問題を見つめ、それらに実践的に関わるための力を養う科目を配置している。フィールド（現場）に関わりながら、実践的な力を養うとともに現代的な課題を発見していこうとする「フィールドワーク（幼児理解）」や、教員や保育士になる自分自身を見つめ、その能力と課題とを確認し、将来に向けての視野を確かなものにしていくための「教職実践演習（幼・小）」などの科目が配置されている。さらに、専門性のさらなる深化を目的とした「ゼミナール」「卒業研究」等の科目も配置されている。

【実習分野】

大学内での学びを教育・保育現場で確認・発展させるとともに、小学校教員、幼稚園教員、保育士としての実践力と応用力とを高めるために「教育実習指導（Ⅰ～Ⅲ）」「教育実習（Ⅰ～Ⅲ）」「保育実習指導（Ⅰ～Ⅲ）」「保育実習（Ⅰ～Ⅲ）」が配置されている。なお、「教育実習指導」「保育実習指導」では実習前の事前指導として教員・保育者として必要な能力と態度について確認すること、事後指導では実習を振り返り、現場での学びと自身の課題についての理解を深めようとしている。

【キャリア分野】

教育職や保育職の職業像を理解し、将来の進路について考え、教育職、保育職に就く者に対して、現場が何を必要とし求めているのかについて主体的に学ぶための「教職基礎演習Ⅰ」、「教職基礎演習Ⅱ」、「教職キャリア演習Ⅰ」、「教職キャリア演習Ⅱ」、「保育キャリア演習Ⅰ」、「保育キャリア演習Ⅱ」の6科目が配置されている。教育者・保育者としての具体的・実践的な力を涵養することが目指されている。

こども発達学科 履修順序表(2015・2016年度入学生用)

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<学科基幹科目> (6単位必修)							
こども発達論 I							
	キリスト教と教育			こども発達論 II			
<教育・保育分野> (4単位以上)							
教職概論 教育原理 保育内容総論 音楽 I	保育原理 国語 理科 音楽 II 造形 家庭 器楽アンサンブル	子育て支援総論 教育工学 保育内容指導法・健康 I 保育内容指導法・人間関係 I 保育内容指導法・表現 I 乳児保育 道徳の指導法 教育方法論 社会 算数 理科実験	教育行政学 教育の歴史 子育て学 保育者論 カリキュラム論 保育内容指導法・環境 I 保育内容指導法・言葉 I 社会的養護内容 障害児保育 初等教科教育法(国語)	保育内容指導法・健康 II 保育内容指導法・生徒・進路指導論 人間関係 II 造形表現演習 特別支援指導法 初等教科教育法(社会) 初等教科教育法(算数) 初等教科教育法(音楽) 初等教科教育法(家庭) 生活 体育 リトミック	保育方法論 保育内容指導法・環境 II 保育内容指導法・言葉 II 保育内容指導法・表現 II 音楽表現演習 身体表現 特別活動の指導法 初等教科教育法(理科) 初等教科教育法(生活) 初等教科教育法(図画工作) 初等教科教育法(体育) 児童文学 声楽	こどもとアート	保育実践研究
		ピアノ	ピアノ				
<心理分野> (8単位以上)							
心理学の基礎 I 教育心理学 発達心理学	心理学の基礎 II	心理学研究法 心理統計学 認知心理学 臨床心理学	心理学基礎実験 言語心理学 乳幼児発達心理学 精神保健 社会心理学	心理学実験実習 I 臨床心理学実習 カウンセリング概論 神経心理学 家族心理学 教育・保育相談	教育心理学演習 心理学実験実習 II カウンセリング演習 障害児心理学 人間関係演習 学校心理学	心理学実験実習 III	
<健康・福祉分野> (6単位以上)							
社会福祉							
	児童家庭福祉 I	児童家庭福祉 II 子どもの保健 I-1 子どもの食と栄養	社会的養護 I 子どもの保健 I-2 子どもの保健 II	社会的養護 II 相談援助	家庭支援論 保育相談支援		
<総合分野>							
	体育講義 (秋学期後半)			ゼミナール I	ゼミナール II	フィールドワーク (こども理解)	教職実践演習(幼・小)
						ゼミナール III	ゼミナール IV
<キャリア分野>							
	教職基礎演習 I	教職基礎演習 II	教職キャリア演習 I	教職キャリア演習 II	保育キャリア演習 I	保育キャリア演習 II	
<実習分野>							
教育実習指導 I(講義)	教育実習 I (校外実習・集中)	保育実習指導 I(演習) 保育実習 I(校外実習・集中)		教育実習指導 II(幼稚園)(講義) 保育実習指導 III(演習)	教育実習 II(幼稚園) (校外実習・集中) 保育実習指導 II (演習) 保育実習 II (校外実習・集中) 保育実習 III (校外実習・集中)	教育実習指導 III(小学校)(講義) 教育実習 III(小学校)(校外実習・集中)	

こども発達学科 履修順序表(2017年度以降入学生用)

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<学科基幹科目> (6単位必修)							
こども発達論 I							
	キリスト教と教育			こども発達論 II			
<教育・保育分野> (4単位以上)							
教職概論 教育原理 保育内容総論 音楽 I	保育原理 国語 理科 音楽 II 造形 家庭 器楽アンサンブル	子育て支援総論 教育工学 保育内容指導法・健康 I 保育内容指導法・人間関係 I 保育内容指導法・表現 I 乳児保育 道徳の指導法 教育方法論 社会 算数 理科実験 特別支援教育 基礎理論	教育行政学 教育の歴史 子育て学 保育者論 カリキュラム論 保育内容指導法・環境 I 保育内容指導法・言葉 I 社会的養護内容 障害児保育 初等教科教育法(国語) 知的障害の教育 I 肢体不自由の教育 I 病弱の教育 I	保育内容指導法・健康 II 保育内容指導法・人間関係 II 造形表現演習 生徒・進路指導論 特別支援指導法 初等教科教育法(社会) 初等教科教育法(算数) 初等教科教育法(音楽) 初等教科教育法(家庭) 生活 体育 リミック 視覚障害・聴覚障害教育総論	保育方法論 保育内容指導法・環境 II 保育内容指導法・言葉 II 保育内容指導法・表現 II 音楽表現演習 身体表現 特別活動の指導法 初等教科教育法(理科) 初等教科教育法(生活) 初等教科教育法(図画工作) 初等教科教育法(体育) 児童文学 声楽 重複障害・LD等 教育総論 自閉症・情緒障害 教育総論	こどもとアート 知的障害の教育 II 肢体不自由の教育 II 病弱の教育 II 障害者援助 技術演習	保育実践研究
		ピアノ	ピアノ				
<心理分野> (8単位以上)							
心理学の基礎 I							
教育心理学 発達心理学	心理学の基礎 II	心理学研究法 心理統計学 認知心理学 臨床心理学 知的障害の心理 ・生理・病理 肢体不自由の心理 ・生理・病理 病弱の心理・生理 ・病理	心理学基礎実験 言語心理学 乳幼児発達心理学 精神保健 社会心理学	心理学実験実習 I 臨床心理学実習 カウンセリング概論 神経心理学 家族心理学 教育・保育相談	教育心理学演習 心理学実験実習 II カウンセリング演習 障害児心理学 人間関係演習 学校心理学	心理学実験実習 III	
<健康・福祉分野> (6単位以上)							
社会福祉							
	児童家庭福祉 I	児童家庭福祉 II 子どもの保健 I-1 子どもの食と栄養	社会的養護 I 子どもの保健 I-2	社会的養護 II 相談援助	家庭支援論 保育相談支援		
<総合分野>							
	体育講義 (秋学期後半)			ゼミナール I	ゼミナール II	フィールドワーク (こども理解)	教職実践演習(幼・小)
						ゼミナール III	ゼミナール IV
<キャリア分野>							
	教職基礎演習 I	教職基礎演習 II	教職キャリア演習 I	教職キャリア演習 II	保育キャリア演習 I	保育キャリア演習 II	
<実習分野>							
教育実習指導 I(講義)	教育実習 I (校外実習・集中)	保育実習指導 I(演習) 保育実習 I(校外実習・集中)		教育実習指導 II(幼稚園)(講義) 保育実習指導 III(演習)	教育実習 II(幼稚園) (校外実習・集中) 保育実習指導 II (演習) 保育実習 II (校外実習・集中) 保育実習 III (校外実習・集中)	教育実習指導 III(小学校)(講義) 教育実習 III(小学校)(校外実習・集中) 特別支援教育実習指導(講義) 特別支援教育実習(校外実習・集中)	